

[横浜市民ギャラリー]
令和元（平成31）年度業務報告及び収支決算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体]

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市西区宮崎町 26-1
構造・規模	鉄筋コンクリート 4階建(地下1階～地上4階)
敷地・延床面積	敷地面積 2,301.11㎡、延床面積 3,428.44㎡
開館日	平成26年10月10日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体
代表団体所在地	横浜市中区山下町 2番地
代表団体代表者	理事長 近藤 誠一
代表団体設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

第3期指定管理期間の4年目にあたる令和元(平成31)年度は、平成30年度に引き続き、管理運営や事業の経験や蓄積を生かしながら下記の3つの基本方針に沿って取組むことで、市民の“主体的な文化芸術活動の拠点”としての存在感を高めることに繋がりました。

【基本方針】

1 文化芸術活動拠点としての機能の強化

ジャンルの幅を広げた事業の実施や、市民が企画に参加できるような取組みを行い、多くの方達が輝きを持って文化芸術活動を行う機会を多く設けました。

2 市民文化活動や創造活動に対する支援の強化

昨年度に引き続き、貸展示室業務を中心とした市民の創造活動のサポートを行いました。迅速で丁寧な対応を心がけました。

3 次世代を担う人材の育成の強化

横浜市民ギャラリーならではの子ども事業の企画や、中高生を含む幅広い年代のボランティアや、大学生・大学院生のインターンを受け入れることで、次世代育成のための取組みを更に充実させました。

【質の高い施設運営及び管理の実施】

3つの基本方針を支えるために、経験豊富なスタッフが、設営面や運営面で施設利用者へ丁寧なアドバイスを行うほか、文化施設管理での高い実績を持つ共同事業体が、構成員としての強い責任を持ち、入館者が安心して創作や鑑賞に励める施設環境を提供しました。

(2) 令和元（平成31）年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

共同事業体がそれぞれの専門知識を発揮できる体制で取り組みました。常に情報を共有し、課題があれば迅速に対応するなど共同事業体ならではの相乗効果の高い施設運営を行いました。

① 事業について

「横浜市こどもの美術展」は今年度も多くの作品を展示し、16,000名を超える来館者をお迎えし大盛況でした。「新・今日の作家展 2019」は、対話について考えさせられる作品が好評で、目標を超える入場者数となりました。「コレクション展 2020」は、横浜ならではのテーマで、多くの来館者に楽しんでいただけるよう万全を期していたところ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期2日目にして開催中止となりましたが、ホームページを使って、一部作品を解説とともにご紹介する工夫を行いました。大人のためのアトリエ講座とハマキッズ・アートクラブでは、今年度も共に総じて高い満足度を獲得。台風のため中止となったハマキッズ・アートクラブでは、後日代替開催することで、期待される施設としての責務を果たしています。また、「横浜画廊散歩」「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」等の編集・発行を通し、市内のギャラリーネットワークを着実に構築しています。

② 運営について

オープン時から心がけている丁寧なお客様サービスを引き続き実施しました。貸展示室の運用変更（個人での利用を可能にする運用）2年目となりましたが、リピートでのご利用者もおられ、ニーズの高さがうかがわれます。毎年のようにご利用いただけている団体様はもとより、新しい団体様、個人利用者様のご利用についても、今後も長くご愛顧いただけるよう、きめ細やかな対応やサポートを継続してまいります。

③ 管理について

専門職員による施設管理を実施しました。通常管理業務以外に、令和元年度の上期には、建物の外壁タイルの全面補修工事が行われ、ご利用者・来館者の安全確保を第一に、横浜市と工事関係者と連携を密にし、無事に工事を完了することができました。常に施設の利用状況に注意を払いながら、効率性を保ちつつ快適な空間をお客様に提供しました。またIPMについても、学芸員を中心に、設備担当職員、IPM業務委託業者らが、情報共有を行いながら、全職員が施設の環境維持に高い意識を持って運営にあたり、美術施設としての機能維持のため尽力しました。

④ その他について

9月、10月の未曾有の大災害をもたらした台風は、当館においても浸水被害をもたらしました。また、年度末の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業や貸館事業に至るまで開催中止となったことも、目標達成において痛手となりました。災害に苦しめられた年であった一方で、職業体験に来てくださった中学生や特別支援学校の生徒さん、ボランティアとして集まっていた中学生からご高齢者まで幅広い層の方々に加え、学芸員志望のインターンの学生まで、令和元年度も多くの方々に横浜市民ギャラリーを内側からも支援していただきました。また、地域連携も大

きく前進した年でした。こうした関係は、当館の大切な財産となっています。

4 業務の取組と達成指標

(1) 事業について

ア 発信性のある自主事業の実施について

[目指す成果]

歴史ある展覧会を実施し、市民へ多様な美術の鑑賞機会を提供します。

[成果についての振り返り]

「新・今日の作家展 2019」では、日常的に使われ、現代美術においても馴染みの深いキーワードを設定し、親しみやすい切口から新進および中堅の4作家を紹介しました。対話がひらかれる環境や状況について考え、そこから展開した対話や関係が継続されていく可能性を表すような作品を展示したことにより、展示室における来場者の滞在時間が比較的長く、盛況のうちに終了しました。

「コレクション展 2020」では、港と水辺をテーマに油彩、日本画、版画、写真等から55点を紹介しました。展覧会は4セクションおよび横浜出身の日本画家・牛田雞村の作品3点の久しぶりの同時公開となる特別展示で構成しました。関連イベントも4事業計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、横浜市の方針に基づき会期2日目を以降開催中止となりました。

両展覧会ともに鑑賞を深めるツールとして、作品解説や作家インタビューを掲載するなどした充実した内容の小冊子を制作・無料配布しました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●自主企画展の年1回以上の開催</p>	<p>現在のアートシーンを紹介する展覧会の実施 □新・今日の作家展 2019</p>	<p>□新・今日の作家展 2019「対話のあとさき」(展示室1、B1)(9/20-10/12) 本年度は、対話がひらかれる環境や状況について考え、そこから展開した対話や関係が継続されていく可能性を探求する「対話のあとさき」を開催。出品作家全員のインタビューや作品図版、作家および作品解説を掲載した小冊子を会場で無料配布し、会期中に関連イベント5事業を実施するなど、展覧会についてより広く深く紹介しました。関連イベントの他、市民向け公開講座「野毛まちなかキャンパス」の一環となる講義と鑑賞会、近隣施設を巡る5館連携事業「紅葉ヶ丘まいらん」における本展ギャラリーツアーをおこない、市民の交流の場を提供するとともにより多くの市民に本展を紹介し、作家の活動や作品を周知しました。また会期終了後に、会場写真と関連イベントの対談・鼎談3本を文字に起こし編集したテキスト、ワークショップの記録写真をまとめた記録集を作成し、展覧会アーカイブおよび作家資料の充実を図りました。</p>

<p>●収蔵作品を活用した展覧会の年1回以上の開催</p>	<p>□入場者数 4,000名 □関連企画 2事業</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>横浜市民ギャラリーの所蔵作品を紹介する展覧会の実施 □コレクション展2020</p>	<p>出品作家：鎌田友介、原美樹子、守章、門馬美喜</p> <p>□入場者数 4,380名 □関連企画5事業実施(9/21、9/28、9/29、10/5、10/6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対談「対話のプラットフォームとしての美術、建築」(9/21) 出演：鎌田友介、五十嵐太郎(建築史・建築批評家／東北大学大学院教授) ・対談「時の厚み、時の手触りー「スナップショット」に託すもの」(9/28) 出演：原美樹子、倉石信乃(写真史・写真批評家／明治大学教授) ・ワークショップ「建築廃材で木製ブックスタンドをつくる」(10/5) 講師：門馬美喜 ・鼎談「二核的な同一主体の隔たりについて」(10/6) 出演：守章(守雅章+守喜章)、岡村恵子(東京都写真美術館学芸員) ・学芸員によるギャラリートーク(9/29) <p>□顧客満足度 4.3</p> <p>□コレクション展2020「うつし、描かれた港と水辺」(展示室1、B1)(2/28-3/15)</p> <p>1,300点の所蔵作品より、港と水辺をテーマとした作品を油彩、日本画、版画、写真等から55点をよりすぐり展示。4つのセクションおよび横浜出身の日本画家・牛田雞村の作品を久しぶりに3点同時に展示する特別展示で構成し、多面的に作品を楽しむ工夫をしました。会場内には鑑賞サポーターが事前調査し、作品中に登場する市内のスポットを紹介するマップを掲出しました。また貴重な証言である出品作家・西村建子氏および林敬二氏のインタビューを収録し、会場内で映像を上映するとともに、全体の解説や図版と一緒に小冊子内にインタビューのテキストも掲載しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため2/29より開催中止となりましたが、展示の様子に解説を添え、3/1～15まで毎日ブログで発信しました。</p>
-------------------------------	---	---

<p>●「今日の作家展」のWEB公開を目的としたアーカイブの実施</p>	<p>□入場者数 4,000名 □関連企画 2事業</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>■「今日の作家展」の記録の整理</p> <p>□関連作家等へのインタビューの実施：インタビュー実施1名</p>	<p>□入場者数 182名（2/28のみ） □関連企画 4事業 ※いずれも中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ「木版画摺り体験 摺りであらわす水辺の情景」（2/29） ・ハマキッズ・アートクラブ「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」（3/8） ・学芸員によるギャラリートーク（3/7） ・鑑賞サポーターによるトーク（3/8、14） <p>□顧客満足度 —（アンケート提出なし）</p> <p>■「今日の作家展」の写真アルバムのデータベース化に着手しました。</p> <p>□5名（鎌田友介、原美樹子、守章(守雅章+守喜章)、門馬美喜)の収録を実施し、インタビュー映像を「新・今日の作家展2019」の会場で上映、ホームページで公開、小冊子にテキストを掲載しました。</p>
<p>●収蔵作品等の積極的な公開とアーカイブの実施</p>	<p>□収蔵作品の作家をピックアップし、インタビューの実施：インタビュー実施1名</p>	<p>□2名（西村建子、林敬二）の収録を実施し、「コレクション展2020」の会場で上映、ホームページで公開、小冊子にテキストを掲載しました。</p> <p>■「コレクション展2020」中止後、一部の作品紹介をホームページで毎日展開しました。</p>
<p>●インターン制度の継続実施</p>	<p>■学芸員や教育普及者、実技指導者を目指している学生を対象としたインターン制度を継続実施し、希望に応じて受け入れます。</p> <p>□特別支援学校の学生を対象に、美術施設としてのビルメンテ実習を行います。 特別支援学校インターン生</p>	<p>■6名を受け入れました。 教育普及に関心のある実技系や芸術を学ぶ大学生・大学院生3名が、「横浜市こどもの美術展2019」での自由参加ワークショップ運営（6/29～7/19）、および青少年センターでのワークショップの企画・運営（10/19～1/26）において事業の企画や当日運営を体験しました。またアーカイブや現代美術等を学ぶ大学生・大学院生3名には、コレクション管理補助業務（11月～2020年2月）を担っていただきました。</p> <p>■4名を受け入れました。 特別支援学校の生徒の就業支援となるよう、清掃業務やビルメンテナンスの体験実習生として、3回、延べ9日間に渡って、4名を受け入れました。この</p>

<p>●横浜市の文化事業との積極的な連携</p>	<p>4名受け入れ</p> <p>□「横浜芸術アクション事業」に寄与する事業を展開：1事業</p> <p>□「フォト・ヨコハマ 2020」との連携：1事業</p>	<p>ほか中学生の職場体験学習として2名を受け入れました。</p> <p>□2事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜音祭り 2019 パートナー事業、ハマキッズ・アートクラブ「バイオリンをつくろう」(アトリエ) (11/3)、講師：三又治彦(NHK交響楽団バイオリン次席奏者) 参加者数 28 名、顧客満足度 5.0 横浜音祭り2019パートナー事業、大人のためのアトリエ講座「音を奏でる人体を描く—クロッキーとデッサン」(アトリエ) (10/31、11/7、11/14、11/21)、講師：清野晃代(画家)、参加者数17名、顧客満足度5.0 <p>□1事業</p> <p>フォト・ヨコハマの開催に合わせ大人のためのアトリエ講座では、横浜の写真文化の発展に貢献し、当館にも作品が収蔵されている写真家に焦点を当てました。</p> <ul style="list-style-type: none"> レクチャー「写真家 奥村泰宏・常盤とよ子夫妻が写した戦後の横浜」(アトリエ) (2/11)、講師：西村健(横浜都市発展記念館調査研究員)、参加者数47名、顧客満足度4.7 フォト・ヨコハマへの協力として、民間画廊にフォト・ヨコハマへの参加を呼びかけました。「横浜画廊散歩」では1～3月号で写真展をクローズアップして掲載しフォト・ヨコハマを盛り上げたほか、広告掲載もおこない広報面でも協力しました。
<p>●鑑賞サポーターの育成及び活用</p>	<p>□コレクション展におけるサポーターの活用</p> <p>サポーターによるギャラリートーク 年1回</p>	<p>□育成研修4回 (1/11、1/25、2/1、2/15)を実施し、鑑賞サポーター(ボランティア)8名が活動しました。サポーターが執筆した「鑑賞サポーターによる作品に描かれたスポット紹介」をコレクション展会場にパネル掲出し、ブログでも紹介しました。3/1の研修および3/8、14「鑑賞サポーターによるトーク」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。</p>

イ 次代を担う子どもの創造性教育事業の実施について

[目指す成果]

作品発表の場、文化芸術の体験の場を提供し、様々な経験を得て、自立の仕方を学べる場とします。

[成果についての振り返り]

「自分でつくる」「自分できめる」「自分でする」ことにより自立心を育てることを目的とし、造形や鑑賞、アウトリーチ等など、子どもたちが様々な形で美術と出会う機会を設けました。「横浜市こどもの美術展」は子どもたちの作品発表の機会であると同時に、アーティストやその作品、美術施設との出会いの場の役割も果たしており、子どもたちと、中学生から大人までの幅広い層のボランティアやインターンとの交流が生まれる機会にもなっています。「ハマキッズ・アートクラブ」やアウトリーチの造形ワークショップでは、子どもたちが悩み、苦勞する場面も自分の力で乗り越えていけるようサポートを行い、最後には自信を得て活動を終える姿を様々な場面で見ることができました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 「横浜市こどもの美術展」の実施と新たな取組</p>	<p>□横浜市こどもの美術展 2019</p> <p>□入場者数 15,000 名</p> <p>□出品数 2,300 点</p> <p>□関連企画 1 事業</p>	<p>□横浜市こどもの美術展 2019(7/19-7/28)</p> <p>子どもたちが意欲的に取り組んだ絵画作品で展覧会場がいっぱいになりました。展覧会のテーマを「家」とし、アーティストによる特別展示では、子どもたちに人気の絵本『100 かいだてのいえ』の作者・いわいとしお氏の作品を紹介しました。また、自由参加ワークショップ、スペシャル絵本ライブ、ハマキッズ・アートクラブ作品展示もいわい氏の協力を得て実施し、全体に一体感のある内容として展覧会を充実させました。「夏のこども音楽会」では横浜みなとみらいホールと連携し、小学生や中高生が出演するコンサートを催し、賑わいました。</p> <p>□展覧会入場者数 15,489 名、イベント来場者数 669 名、ボランティア延べ 78 名、インターン延べ 12 名、計 16,257 名</p> <p>□出品数 家部門 727 点、自由テーマ部門 1,959 点 計 2,686 点</p> <p>□関連企画 6 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわいとしお『100 かいだてのいえ』展 (7/19-7/28) ・いわいとしお スペシャル絵本ライブ (7/27) ・自由参加ワークショップ「みんなでつながろう！ 100 かいだてのいえ」(7/19-7/28) ・ハマキッズ・アートクラブ作品展示(7/19-7/28) ・横浜みなとみらいホール連携「夏のこども音楽会」

<p>●子どもの文化芸術の体験の場の提供と新たな取組</p>	<p>□顧客満足度 4.0 以上</p> <p>■<テーマ部門>の新設(28年度から継続実施) テーマ部門「家」</p> <p>■自分でやってみる場の設置：ワークショップスペースの設置</p> <p>□サポーターの募集、育成 育成研修実施 年1回</p> <p>□アーティストとの交流の場の提供 年1回</p> <p>□ハマキッズ・アートクラブ 全10回 (横浜芸術アクション関連講座1回を含む)</p> <p>□親子対象講座 年3回</p>	<p>「未来の音楽家、ハマの JACK 金の卵たちによる演奏会」計3公演。未来のソリストを夢見る子どもたちによる演奏会。(7/20、21)</p> <p>「みなとみらい Super Big Band ギャラリー・コンサート」1公演。横浜みなとみらいホールを拠点に活躍する中高生ビッグバンドによるコンサート。(7/21)</p> <p>□顧客満足度 4.5</p> <p>■テーマ部門「家」を設定。アーティスト作品展示、自由参加ワークショップなど展覧会全体のテーマとしました。</p> <p>■会期中、子どもも大人も取組める自由参加ワークショップ「みんなでつながろう！100かいだてのいえ」の場を設置しました。(7/19-7/28)</p> <p>□ボランティアを募集し、育成研修を実施しました(6/29)。また、ボランティアの取りまとめを行う学生インターンを募集、育成しました。</p> <p>■絵本作家いわいとしお氏は、関連ワークショップ「ダンボールでつくろう！100かいだてのいえ」(7/13)、いわいとしおスペシャル絵本ライブ、サイン会(7/27)の他、自由参加ワークショップ「みんなでつながろう！100かいだてのいえ」や展覧会場にも、積極的に会場入りしていただき、来場の子供達との交流の機会を作っていました。</p> <p>年3回以上</p> <p>□ハマキッズ・アートクラブ 年齢に応じた様々なプログラムを提供し、活動を通じて子どもたちに「自分で考える」「自分で決める」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験する機会を提供しました。</p> <p>□親子対象講座 年3回</p> <p>①4/21「土粘土であそぼう」講師：横田佳子(当館エデュケーター)、参加者数19組37名、顧客満足度4.9</p> <p>②5/18「えのぐであそぼう」講師：山田佐映子(ワークショップユニット「うめぐみ」主宰)、参加者数18組34名、顧客満足度4.9</p> <p>③12/21「スーパーカーをつくろう」講師：三ツ</p>
--------------------------------	---	--

<p>●横浜市の文化事業との積極的な連携</p> <p>●横浜美術館、横浜市民ギャラリーあざみ</p>	<p>□年長児対象講座 年2回</p> <p>□小学校低学年対象講座 年3回</p> <p>□小学校高学年対象講座 年2回</p> <p>□参加者数 200名</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>□「横浜芸術アクション事業」に寄与する事業を展開 1事業実施</p> <p>□3館で事業連携をし、講座内容や対象年齢を考慮した講座の開催</p>	<p>山一志(造形教育家)、参加者数8組16名、顧客満足度5.0(台風のため10/12より代替開催)</p> <p>□年長児対象講座 年2回</p> <p>①6/8「フェルトでつくろう」講師:宇田川純子(アーティスト)、参加者数12名、顧客満足度4.6</p> <p>②2/16「粘土をつくろう」講師:大竹美佳(造形作家)、参加者数26名、顧客満足度5.0</p> <p>□小学校低学年対象講座 年3回</p> <p>①7/13「ダンボールでつくろう!100かいたでのいえ」講師:いわいとしお(絵本作家、メディアアーティスト)、参加者数45名、顧客満足度4.8</p> <p>②8/24「トートバッグをつくろう」講師:やまゆりの(画家)、参加者数21名、顧客満足度4.5</p> <p>③1/19「スチロールアート」講師:川崎和美(造形作家)、参加者数25名、顧客満足度4.7</p> <p>□小学校高学年対象講座 年3回</p> <p>①7/13「ダンボールでつくろう!100かいたでのいえ」講師:いわいとしお(絵本作家、メディアアーティスト)(再掲)</p> <p>②11/3「バイオリンをつくろう」講師:三又治彦(NHK交響楽団バイオリン次席奏者)、参加者数28名、顧客満足度5.0</p> <p>③12/14「油絵に挑戦!」講師:東麻奈美(アーティスト)、参加者数24名、顧客満足度4.8</p> <p>(3/8「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」講師:河上祐子(当館学芸員/エデュケーター)は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止)</p> <p>□全講座の参加者数268名</p> <p>□全講座の顧客満足度4.8</p> <p>□横浜音祭り2019パートナー事業 11/3「バイオリンをつくろう」講師:三又治彦(NHK交響楽団バイオリン次席奏者)(再掲)</p> <p>□3館での連携講座は開催されませんでした。連携に向けた企画会議を開催し、各館での講座内容や運営方法等の情報を共有しました。</p>
---	---	---

野の子ども事業との連携	<p>企画会議：年1回実施</p> <p>■3館での相互広報の体制作り：応募の落選者へ他館の講座を知らせる仕組みの継続。(28年度から継続実施)</p>	<p>企画会議：11月12日</p> <p>■応募の落選者に他館の講座を周知し、他館の事業への参加促進に寄与しました。</p>
●親子講座の開催	<p>□親子で造形を楽しむ講座を開催：年3回実施</p>	<p>□年7回</p> <p>①4/21「土粘土であそぼう」講師：横田佳子(当館エデュケーター)、②5/18「えのぐであそぼう」講師：山田佐映子(ワークショップユニット「うめぐみ」主宰)、③12/21「スーパーカーをつくろう」講師：三ツ山一志(造形教育家)(再掲)、上記に加えて、大人のアトリエ講座の中で、5/30、6/27、1/29「親が知っておきたい～(紙あそび)・お絵描きあそび」講師：横田佳子(当館エデュケーター)、「新・今日の作家展2019」関連イベントとして10/5ワークショップ「建築廃材で木製ブックスタンドをつくる」講師：門馬美喜(美術家)を開催しました。</p>
●教育機関等への支援の実施と新たな取組	<p>□アートティーチャーズ・プロジェクトとして、＜美術の教師のための鑑賞レクチャー＞等を、教育委員会と共催で実施：年1回実施</p>	<p>□年1回</p> <p>横浜市教育委員会の協力を得て美術科教員へのレクチャーを実施。教員の展覧会に対する興味を喚起し、授業等で活用してもらうため、学芸員がコレクション展の魅力や見どころを話し、学校の希望に応じて児童・生徒向けのギャラリートークが実施可能であること等を周知しました。(12/18)</p>
●横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』への協力	<p>■横浜市芸術文化教育プラットフォームへの協力 学校プログラムの実施 年1回以上</p>	<p>■横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムに全面協力しました。(全3校5回)</p> <p>①横浜市立上星川小学校個別支援級1～6年生18名(11/5「おおきな紙に絵を描こう」講師：三ツ山一志(造形教育家))</p> <p>②横浜市立瀬谷さくら小学校6年生80名(12/17、20「日本画材で描いてみよう」講師：泉桐子(日本画家))</p> <p>③横浜市立稲荷台小学校4年生57名(1/14、15「ボール紙+新聞紙でつくってみよう」講師：宇田川純子(アーティスト))</p>

<p>●鑑賞教室等のアウトリーチ等の実施</p>	<p>□小学生、中学生、高校生を対象としたアーティストトークや鑑賞教室の実施</p> <p>1 事業実施</p>	<p>□ 4 事業実施</p> <p>① 横浜みなとみらいホールオープンデー ワークショップ「横浜市民ギャラリーがやってきた！どうぶつお面をつくろう」（8/12）</p> <p>② 県立青少年センターこどもフェスティバル ワークショップ「横浜市民ギャラリーがやってきた！つくって、あそぼう」（1/26）</p> <p>③ 横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムアウトリーチ 小学校3校5回（再掲）</p> <p>④ 横浜市立都田小学校コミュニティハウスワークショップ講師コーディネート（ハマキッズ・アートクラブ「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」（3/8）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）</p>
--------------------------	--	--

ウ 市民アーティストの創造活動支援の実施について

<p>[目指す成果]</p> <p>実技と教養の講座を開催し、展覧会事業に加え、“美術”をめぐるアプローチを多く提供して美術ファンのすそ野を広げます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>これまでの人気講座(クロッキー、デッサン、古典絵画技法、日本画ワークショップ)を継続し、新たな試みとして油絵の連続講座、座学では幼児を持つ保護者を対象とした創作のためのレクチャーや横浜市民ギャラリーの収蔵作家に関する講演を実施する等、様々な切口から創造活動の場を提供しました。これまでの参加者のニーズに応えるとともに、新しい企画を実施したことにより、若い世代から高齢者まで幅広い層の新規参加者を迎えることができました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●利用団体等が行う活動の支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体への丁寧な相談・助言 ・利用団体の展覧会についての積極的な広報 	<p>[達成指標]</p> <p>■事前打ち合わせを実施</p> <p>■<ヨコハマ・アートナビ>「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」での事前広報</p> <p>■「ヨコハマ・アートナビ」へ</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■展覧会開催1か月前に事前打ち合わせを実施したほか、随時相談に応じ、展覧会終了までサポートしました。</p> <p>■利用団体の展覧会情報を横浜市民ギャラリーの情報誌やホームページ上に掲載するとともに、LOD化されている「ヨコハマ・アートナビ」へ情報提供するなど、積極的な広報支援に努めました。</p> <p>■「ヨコハマ・アートナビ」への情報提供を毎月</p>

<p>●文化芸術の体験の場としての講座等の実施</p> <p>・文化芸術の体験の場としての講座等の実施</p>	<p>の情報提供</p> <p>□「アートヨコハマ」年3回発行</p> <p>□「横浜画廊散歩」月1回発行</p> <p>■ホームページでの展覧会の紹介：会期初日にホームページ上で公開</p> <p>□大人のためのアトリエ講座 全10講座</p> <p>□つくって学ぶ 年7講座</p> <p>□きいて学ぶ 年3講座</p>	<p>実施しました。</p> <p>□「アートヨコハマ」年3回発行(6月、10月、2月)</p> <p>□「横浜画廊散歩」月1回発行</p> <p>■横浜市民ギャラリーを利用する全ての団体の展覧会期初日に会場の様子を撮影し、ホームページで公開するとともにSNSでも画像やハッシュタグを付ける等の工夫をしながら発信し、広報に協力しました。</p> <p>□大人のためのアトリエ講座 全10講座</p> <p>□つくって学ぶ 年7講座</p> <p>① 4/18、4/25、5/2、5/9「人体を描くークロッキーとデッサン」、講師：清野晃代(画家)参加者数24名、顧客満足度4.8</p> <p>② 5/12「中世ヨーロッパの絵画技法でつくる羊皮紙の栞」、講師：上野淑美(修復士)、参加者数17名、顧客満足度4.7</p> <p>③ 5/17、5/24、5/31、6/7、6/14「油絵を描く」、講師：椿暁子(画家)、参加者数12名、顧客満足度5.0</p> <p>④ 10/31、11/7、11/14、11/21「音を奏でる人体を描くークロッキーとデッサン」、講師：清野晃代(画家)、参加者数17名、顧客満足度5.0</p> <p>⑤ 11/29、12/6、12/13、12/20「巨匠の素描に触れて学ぶ」、講師：石田淳一(画家)、参加者数12名、顧客満足度5.0</p> <p>⑥ 12/7「はじめての日本画 絹に描く」、講師：武田裕子(日本画家)、参加者数22名、顧客満足度4.8</p> <p>⑦ 1/16、1/23、1/30、2/6「人体を描くークロッキーとデッサン」、講師：松本隆(彫刻家)、参加者数21名、顧客満足度4.9</p> <p>□きいて学ぶ 年3講座</p> <p>① 5/30、6/27「親が知っておきたい“おえかき”の楽しみ方」、講師：横田佳子(当館エデュケーター)、参加者数5/30：28名 6/27：38名、顧客満足度5/30：4.7 6/27：4.5</p>
---	--	--

<p>・横浜市の文化芸術事業との関連講座の開催</p> <p>●美術情報の提供及び広報の充実</p> <p>・横浜美術館との情報連携の強化</p> <p>・ホームページ、SNS等の活用による充実しタイムリーな情報発信</p> <p>・広報誌の定期的な発行</p>	<p>□参加者数 200名</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>□「横浜芸術アクション事業」に寄与する事業を展開：1事業実施</p> <p>■広報連携の実施</p> <p>■横浜市の文化政策上重要な事業については、映像情報等を交えたコーナーを設置し、広報する：会期に合わせて紹介</p> <p>■空室情報の更新 随時</p> <p>■展覧会情報 会期初日に展覧会情報を紹介</p> <p>・定期的に情報誌を発行</p> <p>□「アートヨコハマ」</p>	<p>②1/29「親が知っておきたい～紙あそび・お絵かきあそび～」、講師：横田佳子（当館エドゥケーター）、参加者数23名、顧客満足度4.9</p> <p>③2/11「レクチャー 写真家 奥村泰宏・常盤とよ子夫妻が写した戦後の横浜」、講師：西村健（横浜都市発展記念館調査研究員）、参加者数47名、顧客満足度4.7（再掲）</p> <p>□参加者数 260名</p> <p>□顧客満足度 4.8</p> <p>□1事業実施（再掲）</p> <p>横浜音祭り2019パートナー事業「大人のためのアトリエ講座 音を奏でる人体を描くークロッキーとデッサン」（アトリエ）（10/31、11/7、11/14、11/21）、講師：清野晃代（画家）</p> <p>■「横浜画廊散歩」や「アートヨコハマ」では横浜美術館の事業をピックアップし、横浜市民ギャラリーあざみ野とはそれぞれの情報誌で相互に事業を紹介したほか、企画展会期に合わせてチラシやポスター掲示を効果的な場所に設置し、SNSでの発信や、企画展の告知動画をエントランス・送迎車内などお互いに放映する等広報において連携しました。</p> <p>■エントランス・送迎車内モニターで横浜美術館、横浜市民ギャラリーあざみ野などの展覧会告知映像を放映し、併せてチラシを配架して広報しました。</p> <p>■空き室情報を随時更新しました。</p> <p>■利用団体の展示作業が終了し次第、会場の様子を撮影し、ホームページ上で紹介しました。また、SNSでも展覧会を紹介しました。</p> <p>□定期的に情報誌を発行し、ホームページと連動させ、民間ギャラリーを含む横浜市内の展覧会情報を市民に提供しました。</p> <p>□「アートヨコハマ」（再掲）</p>
---	--	---

<p>●市民参画等の協働の推進による美術振興の担い手育成</p> <p>・文化芸術の情報場の強化及び集客キャンペーンの実施</p>	<p>発行回数：年3回</p> <p>□「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」 発行回数：年1回</p> <p>□「横浜画廊散歩」 発行回数：月1回</p> <p>■文化芸術の情報場として強化：情報コーナーの充実</p> <p>■キャッチコピーの掲示による集客の継続</p>	<p>当館事業の記事枠を広げ、当館の魅力を多角的に発信することに努めた他、広告枠を拡大することで広告料収入を増やしました。</p> <p>□年3回(6月、10月、2月)</p> <p>□発行部数：10,000部/回</p> <p>□配布箇所：約950箇所配布(学校ポスト約500箇所含む)</p> <p>□「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」</p> <p>□年1回(8月)</p> <p>□発行部数：15,000部</p> <p>□配布箇所：約950箇所配布(学校ポスト約500箇所含む)</p> <p>□「横浜画廊散歩」</p> <p>画廊、美術施設との日々の細やかなやりとりが、地域のギャラリーネットワークを支えています。</p> <p>□発行回数：年12回(毎月発行)</p> <p>□発行部数：4,500部/月</p> <p>□配布箇所：約220箇所(毎月)</p> <p>「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」ともに今年度も広告主を安定して確保することができ、広告料収入の目標額を大きく上回ることができました。</p> <p>■チラシラックは常に整理に努め、展覧会の内容に合わせたチラシの配架を行い、各地の公募展の案内を集めた「公募要項コーナー」にまとめたり、ポスターもテーマ性をもたせた掲出をするなど、工夫をこらしました。気軽に当館の図録や美術書籍等を手に取って読むことができるよう美術図書読書コーナーも来館者にお楽しみいただきました。</p> <p>■「展覧会はどなたでも無料でご覧いただけます」というキャッチコピーを親しみやすいイラストとともに掲載した大型バナーを継続して館外入口に設置し、気軽に立ち寄ることのできる雰囲気 연출しました。また、外国語対応の一環としてホームページに英語の案内ページを設けているほか、館外の掲示板に英語の案内も掲出しています。</p>
---	--	---

<p>・自主企画展におけるボランティアの活用</p>	<p>□ボランティアの活用 年2回</p>	<p>□ボランティアの活用 年2回(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市こどもの美術展2019」自由参加ワークショップのサポート(7/19-7/28)、参加者数31名(うち中高生13名)、延べ78名(研修を除く) ・「コレクション展2020」鑑賞サポーター(事前研修1/11、1/25、2/1、2/15)、参加者数8名、延べ32名(研修のみ)
----------------------------	---------------------------	---

エ 創造活動を介した人々のネットワーク形成について

<p>[目指す成果]</p> <p>ネットワークの形成により市民施設、機関との関係性を育み、文化芸術活動を市民にとって身近なものとして受け取ってもらえるようにします。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務計画通り、様々な市民施設、横浜市教育委員会等の機関等と相互交流を行い、文化芸術活動を様々な形で市民に向けて発信しました。情報誌「横浜画廊散歩」や「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」は、市内の美術関係者と連携しながら発行し、横浜市内の美術振興の一翼を担いました。横浜美術館の展覧会情報や、近隣他施設の情報を館内エントランスのモニターで放映するなど、他施設との広報連携を引き続き行くとともに来館者へ多彩な情報を伝える取組みを実施しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>● 関連施設、民間ギャラリー、利用団体、ボランティア、アーティスト、学校教育間での相互交流の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連施設とのネットワーク ■ インターネット情報、印刷物相互配布 通年 <p>・ 民間ギャラリーとのネットワーク</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 関連施設とのネットワークを形成し、ホームページへ施設情報の掲載、展覧会情報や印刷物の相互提供を行いました。また近隣の公共施設5館(県立音楽堂・県立図書館・県立青少年センター・横浜能楽堂・横浜市民ギャラリー)で構成される紅葉ヶ丘5館連携会議では、ミーティングを定期的に行い、秋には5館連携による事業「紅葉ヶ丘まいらん」を実施しました。また、今後も安定して活発に地域連携事業が展開できるように「紅葉ヶ丘5館連携会議規約」を作成、締結しました。地域で芸術文化の魅力を発信する基盤を固めた1年となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黄金町バザールと当館を含めた近隣の施設との地域連携を目指して、ミーティングを行いました。黄金町バザールやヨコハマトリエンナーレ2020等をはじめ、平時から黄金町エリアと連携していく土壌づくりが始まりました。 ・ 民間ギャラリーとのネットワーク 画廊、美術施設との日々の細やかなやりとりが、地域とのギャラリーネットワークを形成してい

	<p>□「横浜画廊散歩」発行月1回</p> <p>□「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」発行 年1回</p> <p>■展覧会のホームページへの掲載</p> <p>・利用団体との交流</p> <p>■貸館利用打合せ実施：通年</p> <p>・ボランティアの活用</p> <p>□横浜市こどもの美術展、コレクション展にて募集 年2回</p> <p>・アーティスト</p> <p>□大人のためのアトリエ講座の実施 全10講座</p> <p>□展覧会の実施 年3回</p> <p>・学校教育</p> <p>□アートティーチャーズ・プロジェクト 年1回</p> <p>□アウトリーチ 年1回</p>	<p>ます。</p> <p>□「横浜画廊散歩」発行 月1回</p> <p>□「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」発行 年1回(8月)</p> <p>■展覧会情報をホームページへ掲載実施したほか SNSでも発信しました。</p> <p>■貸館利用打合せを通年で実施しました。</p> <p>・ボランティアの活用(再掲)</p> <p>□「横浜市こどもの美術展2019」「コレクション展2020」で募集しました。参加者数39名。 年2回</p> <p>・アーティスト</p> <p>□アトリエ講座を全10講座実施しました。</p> <p>□展覧会を年3回実施しました。(「横浜市こどもの美術展2019」「新・今日の作家展2019」「コレクション展2020」)(再掲)</p> <p>・学校教育(再掲)</p> <p>□年1回(再掲)</p> <p>・市立美術科教員向けレクチャーを実施しました。(12/18)</p> <p>□年2回(再掲)</p> <p>・小学校3校5回。横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムへ全面協力しました。</p> <p>・横浜市立都田小学校コミュニティハウスのワークショップ講師をコーディネートしました。</p>
--	--	---

(2) 運営について

ア 創造活動の施設の提供について

<p>[取組内容]</p> <p>●公平・公正かつホスピタリティの高い貸出業務</p> <p>・多くの市民に利用してもらえるような公平・公</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□全展示室利用団体の抽選会 年1回</p> <p>□1～5室利用団体の抽選会 月1回</p> <p>■抽選会後の空き室 先着順</p> <p>■直前での利用申込み等に</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□全展示室利用(令和3年度)抽選日3/25 抽選参加団体：14団体、決定団体：14団体</p> <p>□1～5室の利用 抽選日：毎月10日(実施)</p> <p>■空き室の申込は抽選終了後、毎月15日から先着順にて受け付けました。</p> <p>■今年度の実績はありませんでしたが、日常的に直</p>
---	--	--

<p>正で、透明性の高い施設貸出</p>	<p>は、安全を確認した上での対応を行う。</p> <p>■利用団体からのアンケートを運営に活かすために職員内で情報共有する。</p> <p>□利用団体からのアンケート回収率 80%以上</p> <p>□施設スタッフ全員での定期的なミーティングの開催 月1回</p>	<p>前での利用申込みへの対応可能な体制を取りました。</p> <p>■利用団体からのアンケートを職員内で情報共有しました。アンケートの意見を反映し、運営に活かしました。</p> <p>□利用団体からのアンケート回収率 98%</p> <p>□施設スタッフ全員での定期的なミーティング 月1回開催(4/2、5/7、6/4、7/5、8/6、9/3、10/1、11/12、12/3、1/10、2/10、3/4)</p>
<p>・利用団体への丁寧な相談・助言</p>	<p>■展覧会開催・終了までの利用打合せ・展示作業及び展覧会期間中の運営サポートや広報面でも協力助言し、安心して展覧会が開催できるよう支援</p> <p>□アンケート満足度 4.0 以上</p>	<p>■利用者の経験等を鑑みながら、きめ細やかな運営サポートを行い、利用者が安心して展覧会が開催できるよう支援しました。</p> <p>□アンケート満足度 4.5</p>
<p>・利用団体の展覧会についての積極的な広報</p>	<p>■「アートヨコハマ」への開催情報の掲載</p> <p>■会場風景をホームページで紹介。展覧会情報を facebook、twitter に掲載</p> <p>■利用者ごとの柔軟な対応</p>	<p>■「アートヨコハマ」のほか「横浜画廊散歩」に開催情報を掲載し、ホームページでも公開しました。また、「ヨコハマ・アートナビ」へ情報提供を行いました。(再掲)</p> <p>■全ての展覧会の初日に会場風景を撮影し、ホームページで紹介したほか、展覧会情報を facebook、twitter に画像やハッシュタグ付で掲載するなど、利用者の展覧会への広報支援を行いました。</p> <p>■利用者からの作品の展示に関する相談に対応したほか、必要に応じて作業を手伝うなど、利用者ごとに柔軟に対応しました。</p>
<p>・エリアを通じた施設周知</p>	<p>■近隣・コミュニティとのリレーションシップによりエリアを通じた施設周知を図る。</p> <p>近隣・コミュニティとの連絡会の開催</p>	<p>■町内会・伊勢山皇大神宮・横浜成田山・横浜市従会館と情報交換を密に行いました。</p> <p>・伊勢山皇大神宮への当館チラシラックの設置、町内会掲示板へのチラシ掲示を通じ、自主事業の周知にご協力いただきました。</p> <p>・近隣の公共施設 5 館(県立音楽堂・県立図書館・県立青少年センター・横浜能楽堂・横浜市民ギ</p>

<p>●横浜市民ギャラリーあざみ野との連携による情報提供</p>	<p>■広報連携の実施</p> <p>■空き室情報の共有の実施</p>	<p>ギャラリー)で連携し、「紅葉ヶ丘まいらん」として、合同で事業を行うことが出来ました。当館では、「新・今日の作家展2019」において、県立青少年センターや横浜能楽堂のイベント後に参加者を当館までアテンドし、本展のギャラリーツアーに参加していただきました。(10/10、11、講師：大塚真弓(当館学芸員))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のほりがみラリーに協力し、エリアを通じて施設周知を図りました。 ・野毛地区振興事業協同組合、野毛地区街づくり会、および横浜商科大学の連携によって企画・運営される社会人と大学生の公開講座「野毛まちなかキャンパス」の第1回として「新・今日の作家展 2019」の特別鑑賞とレクチャーを実施しました(10/7、講師：大塚真弓(当館学芸員))。 ・横浜みなとみらいホールオープンデーでワークショップ「どうぶつお面をつくろう」(8/12)を実施し、施設周知を図りました。 ・県立青少年センター子どもフェスティバルに協力し、アウトリーチワークショップ「つくってあそぼう」を実施しました。企画・運営には、当館の学生インターンが活躍しました。(1/26) ・その他、より充実した地域連携事業を模索していくために、保育園や地域ケアプラザ等、施設への訪問や調査を行いました。来年度以降の事業の検討・実施につなげていきます。 <p>■横浜市民ギャラリーあざみ野と相互に情報誌への掲載、チラシ配架、ポスター掲示、SNS発信を行ったほか、館内エントランスモニターでの告知映像放映等の広報連携を実施しました。</p> <p>■空き室情報をホームページ上で公開しました。</p>
----------------------------------	-------------------------------------	---

イ 利用促進及び利用者サービスの向上及びアイデアノウハウの提案

<p>[取組内容]</p> <p>●適切な施設情報発信等による認知度向上への取組強化</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■施設情報を適切に発信し、施設の認知度アップに取り組む。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ホームページやSNSで展覧会情報、自主事業情報、空き室状況、送迎車情報を発信し、施設の認知度アップに取り組みました。施設利用者が自ら発信できるよう、来場者向けWi-Fiの利用をご案内しました。</p>
--	---	---

<p>● 空き室の有効利用等の利用促進のための取組の拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホームページでの施設情報周知 ■ 全展覧会を facebook、twitter で紹介 ■ 利用案内による施設情報周知 ■ 積極的な施設貸出の営業 ■ ホームページでの空き室情報の随時アップ ■ 美術関係者・団体とのネットワーク拡大により個別に営業をかけられる体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「アートヨコハマ」等の情報誌内や、館内お客様用机上での掲示（約8カ所）、送迎車や館内入り口での映像内、紅葉ヶ丘の広場や野毛ちかみちの掲示板、さらには青少年センター前の県立施設案内掲示板の一角に当館案内コーナーを新たに設置いただけるなど、施設情報を発信できる機会や場所を増やし、認知度アップに努めました。 ■ 展示室・アトリエのバーチャルツアーをホームページに引き続き掲載したほか、ヨコハマ・アートナビ、PRタイムズなどのウェブメディアへの施設情報提供など、できる限り周知に努めました。 ■ 発信力を高めるためにホームページ自体の内容の見直しを行い、改修作業に入りました。来年度に切り替えを目指しています。 ■ 全展覧会を画像やfacebook、twitterで紹介しました。（再掲） ■ 昨年度末に更新した利用の手引きを各利用団体に活用いただきました。 ■ 次年度の申込がない団体には積極的にお声掛けをしました。会期が迫った空き室については利用が可能な日を明記したチラシを作成したほか、館内にも配架しました。また、利用日より半年を切った空き室は、10名未満の団体や個人も利用できる運用を昨年度より始めており、この周知の効果もあり、空き室は確実に減りました（4～2月）。さらに、全展示室利用の抽選の枠を拡大する運用も行い、従来のお客様を大切にしながらも、より広くのお客様が利用しやすい環境を整えました。 ■ ホームページで空き室情報を随時アップし、最新の情報を提供しました。 ■ これまでの施設運営で蓄積した美術関係者・団体とのネットワークを利用し、台湾の台中市および台湾文化センターの利用につなげ、国際文化交流の場としての役割を果たすことができました。 <p>（7/31～8/11 『2019台中市大墩美展文化交流</p>
----------------------------------	--	--

<p>●利用率の向上 と目標指標の 達成</p> <p>●要望・苦情へ</p>	<p>■抽選に外れた全利用者への 代替案の提案</p> <p>■利用希望日より6か月を切 った展示室空室は、個人利用 を可能とする運用の実施</p> <p>■空室の個別の営業活動の実 施：横浜近郊の美術系大学 への利用案内</p> <p>■アトリエに特化した広報物 の作成：過去利用団体への 利用案内(28年度から継続 実施)</p> <p>■美術関連の学校、学部への 周知・営業活動の実施</p> <p>■美術に限らずジャンルを超 えたアーティストの創造活 動支援</p> <p>31年度目標</p> <p>□来館者目標：25万人 ・利用率</p> <p>□展示室：91%</p> <p>□アトリエ：43%</p> <p>■職員ミーティングでお客様</p>	<p>展』（2F・3F）、『台湾コンテンポラリー・ア ート展「淬・煉—百鍊鋼を成す」』（B1）</p> <p>■抽選に外れた利用者に対しても、別日程での利 用を提案するなど、施設の利用を促進するよう 努めました。</p> <p>■新規も、リピートでも一定数のご利用がとも にあり、この運用の周知がなされてきたと判断で きます。</p> <p>■希望者に、新しい「利用の手引き」を配布しま した。高校・大学の美術学科や書道科などの卒 業制作展の発表の場として、安定的にご利用い ただいています。</p> <p>■アトリエ利用促進の告知動画を引き続き館内エ ントランスモニターや送迎車内モニターで放映 し、エントランスの休憩スペースのテーブル上 に広告を設置するなどし、宣伝に努めました。 またアトリエ利用抽選に際し、優先順位を新た に設ける運用を年度始より開始。ご利用の手引 き等で周知することで、アトリエ利用促進の一 助としました。</p> <p>■希望者に、新しい「利用の手引き」を配布しま した。</p> <p>■TPAM（国際舞台芸術ミーティング in 横浜）の フリンジ会場となりました。舞台公演の稽古場と本 公演用に地下1階展示室をご利用いただくことで、 美術とは異なるジャンルでの利用について協力し ました。</p> <p>□来館者：216,082人</p> <p>□展示室：91%（3月の新型コロナウイルス問題が なければ97%）</p> <p>□アトリエ：44%（同上、49%）</p> <p>利用率は目標を達成できましたが、3月3日以降、 新型コロナウイルス感染予防のため全室休室、臨時 休館とならなければ、展示室もアトリエも、それぞ れ5～6ポイント高い利用率を記録していたはず でした。</p> <p>■お客様対応の確認について日常的に議題にあげ、</p>
---	---	---

<p>の適切な対応とその共有の実施</p>	<p>への対応の確認：随時</p> <ul style="list-style-type: none"> ■お客様へのアンケートの実施と共有：通年 ■苦情・要望の分析と共有：随時 ■速やかな対応と再発防止のための情報共有：随時 ■横浜市との情報共有：随時 ■改善事例のホームページ公開：随時 	<p>常に高いサービス実現のために職員一同取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■お客様へのアンケートは全職員に回覧、意見交換などを実施し、情報共有及びサービス向上に努めました。 ■苦情・要望については直ちに職員間で共有し、意見交換の上、対応等を決定して速やかに対応するとともに再発防止に取り組みました。 ■横浜市との情報共有を随時行いました。 ■新規貸出物品について、ホームページで公開し、利用促進を図りました。 「コレクション展2020」が新型コロナウイルス感染拡大防止のために初日のみの開催となってしまったことで、ホームページ上で展覧会をお楽しみいただけるように、展示内容に解説を加えたブログを会期中毎日公開しました。(再掲)
<p>●市民の芸術活動の深化のための取組の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■市民が交流し、情報交換や知識収集のできる環境の整備：閲覧スペースの設置 通年 	<ul style="list-style-type: none"> ■エントランスに机・椅子・チラシラック等を設置し、各地の展覧会情報を見ることのできるスペースとして通年設置しました。チラシラックは常に整理し、開催中の展覧会の内容に合わせて配架ジャンルやレイアウトを工夫しました。また気軽に当館の図録や美術書籍等を手に取って読むことができるよう美術図書読書コーナーも常時開設しました。
<p>●宮崎町親和会(町内会)や伊勢山皇大神宮との協力体制構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■町の美化や町内行事の参加だけでなく、一緒に施設のPR等を実施 ■宮崎町親和会での事業周知：通年 ■伊勢山皇大神宮の参拝客へのアピール：通年 	<ul style="list-style-type: none"> ■町の美化行事への参加だけでなく、町内会の掲示板にてチラシを掲示していただくなど、一緒に施設のPR等を実施しました。(再掲) ■町内会掲示板へのチラシ掲示により、自主事業の周知に通年でご協力いただきました。(再掲) ■伊勢山皇大神宮に当館のチラシラックを設置していただき、ポスター掲示とともに参拝客へのアピールを通年行いました。(再掲) <p>この他、施設周知と地域活性化の一環として、5館連携事業「紅葉ヶ丘まいらん」ギャラリートゥアーを開催(10/10、10/11)したり、県立青少年センターこどもフェスティバルに協力し、アウトリーチワークショップ「つくってあそぼ</p>

<p>●送迎車の最適な運用の実施</p>	<p>■桜木町駅と横浜市民ギャラリー間で(車いす利用者等の利用にも配慮した)無料の送迎車を走行。原則、障がい者、高齢者を優先とするサービス。アクセス改善の一助とする。</p> <p>■展覧会に即して着実に運行</p> <p>■館内、ホームページで周知</p> <p>■運行データの収集</p>	<p>う！」を実施しました(1/26)。(再掲)</p> <p>また、野毛地区振興事業協同組合、野毛地区街づくり会、および横浜商科大学の連携によって企画・運営される社会人と大学生の公開講座「野毛まちなかキャンパス」の第1回として「新・今日の作家展2019」の特別鑑賞とレクチャーを実施しました(10/7、講師：大塚真弓(当館学芸員))。(再掲)</p> <p>■桜木町駅と横浜市民ギャラリー間で(車いす利用者等の利用にも配慮した)無料の送迎車を31年度も引き続き運行し、アクセス改善の一助としました。特に配慮が必要なお客様からのお問い合わせには柔軟に対応し、安心してご来館いただけるようにしました。</p> <p>■展覧会の開始終了時刻を細やかに確認しながら、着実に運行しました。</p> <p>■31年度も引き続き、館内、ホームページ、野毛ちかみちの掲示板に乗り場や時刻表など掲載したほか、チラシとポケット時刻表を桜木町駅の観光案内所で配布していただくなど、送迎車の周知に努めました。ホームページでも、送迎車によりアクセスしやすいように工夫した案内を行いました。また、月ごとの送迎車運行予定のホームページへの掲載、SNSでの発信のほか、「本日の時刻表」を館内に掲示し、より細やかにお知らせしました。</p> <p>■運行データの収集を毎月行いました。関係者間で毎月会議を行い、日々のサービス向上に向けて協議しました。</p>
----------------------	--	---

ウ 市民ギャラリー収蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

<p>[取組内容]</p> <p>●収蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■作品の定期的な点検確認</p> <p>□作品の棚卸 年1回</p> <p>□館内の継続的なIPM点検による庫内環境の維持</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■作品修復業者と実施する点検を12/10、12/13、12/15、1/9、1/12、2/13に実施しました。</p> <p>□学芸員による作品の棚卸を年5回実施し、71点を点検しました。 年5回</p> <p>□年間を通じIPMの手法に基づき収蔵庫や館内の環境をモニタリングし、状況を把握しまし</p>
---	--	---

<p>●資料情報、作品の貸出、展示、</p>	<p>(隔月および年1回)</p> <p>■作品データの更新</p> <p>■作品データベースの公開</p> <p>□コレクション展実施</p> <p>□ホームページでの収蔵作品の紹介 12点</p> <p>■作品修復の実施</p> <p>■資料情報、作品の貸出、展示、修復等の履歴について</p>	<p>た。収蔵庫は学芸員による原則週1度の定期的な清掃をするとともに、2ヶ月に1度害虫の有無やカビのサンプリング等の点検の上、専門業者による分析とフィードバックを継続し正確なデータを蓄積しました。また年に1度専門業者による殺菌を行うほか、必要な場合は学芸職員が簡易消毒を行うなど、環境向上に努めました。</p> <p>■所蔵作品の出品歴データについて全件の調査とデータ入力を完了しました。またその他データの更新を通年随時おこないました。新カード作成に備えた事前作業を継続して実施しました。</p> <p>■30年度に公開した収蔵作品検索ページを改修し、表示の不具合等を解消、検索時に分かりやすい項目を追加する等、利用者が使いやすいものとなりました。</p> <p>□コレクション展2020「うつし、描かれた港と水辺」(2/28-3/15)(展示室1、B1)※2/29以降中止(再掲)</p> <p>□ホームページ内、〈今月の1点〉での収蔵作品紹介 12点</p> <p>入江泰吉《ねこやなぎ》、塩田英二郎《へボン博士》、櫻庭彦治《横浜・山手(外人墓地と港)》、石踊紘一《インド追想(山下公園・インド水塔)》、秋岡美帆《そよぎ Sway》、園山晴巳《Sortie de Couleur E》、島田四郎《相模野富士》、西村建子《キリンと一緒に》、山崎秀夫《風》、平野杏子《春林天》、柴田昌一《MM21(A)》、萩原英雄《港風景》</p> <p>加えて、「コレクション展2020」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため2/29より開催中止となりましたが、展示の様子および作品解説を3/1～15まで毎日ブログで発信することで、収蔵作品をホームページで紹介することができました(17点)。</p> <p>■作品修復を10件実施しました。また詳細写真データ未撮影作品およびポジフィルムが劣化している作品のうち、あわせて35点の撮影を実施しました。</p> <p>□所蔵作品の出品歴データについて全件の調査とデータ入力を完了しました。またその他データ</p>
------------------------	---	--

<p>修復等の履歴についてのデータベースの継続的な充実及び台帳の継続的な管理と収蔵作品の公開の実施</p>	<p>のデータベースを継続的に更新</p> <p><input type="checkbox"/>コレクション展実施</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページでの収蔵作品の紹介 12点</p>	<p>の更新を通年随時おこないました。新カード作成に備えた事前作業を継続して実施しました。(再掲)</p> <p><input type="checkbox"/>コレクション展2020「うつし、描かれた港と水辺」(2/28-3/15)(展示室1、B1)※2/29以降中止(再掲)</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページ内、<今月の1点>での収蔵作品紹介 12点 入江泰吉《ねこやなぎ》、等(再掲)</p> <p>コレクション展2020のブログでの発信による収蔵作品をホームページで紹介(17点)。(再掲)</p>
---	---	--

エ 運営組織の構築及び組織的な運営

<p>[取組内容]</p> <p>●適切な運営組織体制と人材の配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="375 869 877 1657"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>館長</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>事業責任者</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>運営管理責任者</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>学芸・事業</td><td>3人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>施設運営担当</td><td>4人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>施設管理責任者</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>施設管理副責任者</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>施設管理担当</td><td>2人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>警備チーフ</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>警備担当</td><td>3人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>清掃チーフ</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>清掃担当</td><td>3人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>常勤アルバイト</td><td>2人</td><td>週4日</td></tr> <tr><td>短期アルバイト</td><td>2人</td><td>講座開講日等</td></tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制について</p> <p>ローテーション体制</p> <p>主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室スタッフ 原則常時5名以上 ・設備管理スタッフ 	項目	人数	備考	館長	1人	固有	事業責任者	1人	固有	運営管理責任者	1人	固有	学芸・事業	3人	固有	施設運営担当	4人	固有	施設管理責任者	1人	固有	施設管理副責任者	1人	固有	施設管理担当	2人	固有	警備チーフ	1人	固有	警備担当	3人	固有	清掃チーフ	1人	固有	清掃担当	3人	固有	常勤アルバイト	2人	週4日	短期アルバイト	2人	講座開講日等	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="901 869 1420 1657"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>館長</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>事業責任者</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>運営管理責任者</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>学芸・事業</td><td>3人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>施設運営担当</td><td>4人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>施設管理責任者</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>施設管理副責任者</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>施設管理担当</td><td>2人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>警備チーフ</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>警備担当</td><td>3人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>清掃チーフ</td><td>1人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>清掃担当</td><td>3人</td><td>固有</td></tr> <tr><td>常勤アルバイト</td><td>2人</td><td>週4日</td></tr> <tr><td>短期アルバイト</td><td>4人</td><td>講座開講日等</td></tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制について</p> <p>ローテーション体制</p> <p>主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室スタッフ 原則常時5名以上配置しました。 ・設備管理スタッフ 	項目	人数	備考	館長	1人	固有	事業責任者	1人	固有	運営管理責任者	1人	固有	学芸・事業	3人	固有	施設運営担当	4人	固有	施設管理責任者	1人	固有	施設管理副責任者	1人	固有	施設管理担当	2人	固有	警備チーフ	1人	固有	警備担当	3人	固有	清掃チーフ	1人	固有	清掃担当	3人	固有	常勤アルバイト	2人	週4日	短期アルバイト	4人	講座開講日等
項目	人数	備考																																																																																										
館長	1人	固有																																																																																										
事業責任者	1人	固有																																																																																										
運営管理責任者	1人	固有																																																																																										
学芸・事業	3人	固有																																																																																										
施設運営担当	4人	固有																																																																																										
施設管理責任者	1人	固有																																																																																										
施設管理副責任者	1人	固有																																																																																										
施設管理担当	2人	固有																																																																																										
警備チーフ	1人	固有																																																																																										
警備担当	3人	固有																																																																																										
清掃チーフ	1人	固有																																																																																										
清掃担当	3人	固有																																																																																										
常勤アルバイト	2人	週4日																																																																																										
短期アルバイト	2人	講座開講日等																																																																																										
項目	人数	備考																																																																																										
館長	1人	固有																																																																																										
事業責任者	1人	固有																																																																																										
運営管理責任者	1人	固有																																																																																										
学芸・事業	3人	固有																																																																																										
施設運営担当	4人	固有																																																																																										
施設管理責任者	1人	固有																																																																																										
施設管理副責任者	1人	固有																																																																																										
施設管理担当	2人	固有																																																																																										
警備チーフ	1人	固有																																																																																										
警備担当	3人	固有																																																																																										
清掃チーフ	1人	固有																																																																																										
清掃担当	3人	固有																																																																																										
常勤アルバイト	2人	週4日																																																																																										
短期アルバイト	4人	講座開講日等																																																																																										

<p>●組織内の情報共有及び主要人材の能力担保 組織的な施設運営のための職務の効率化や職員間の情報共有、業務改善のための会議を定期的実施すると共に、職員の能力担保のためOJT及び定期的な研修等を実施</p>	<p>開館時：設備1名、警備2名、清掃2名、5名以上 閉館時：設備1名、警備2名</p> <p><input type="checkbox"/>定例会の実施 月1回</p> <p><input type="checkbox"/>研修 年2回</p>	<p>開館時：設備1名、警備2名、清掃2名 計5名以上配置しました。 閉館時：設備1名、警備2名</p> <p><input type="checkbox"/>定例会月1回実施 (4/2、5/7、6/4、7/5、8/6、9/3、10/1、11/12、12/3、1/10、2/10、3/4)</p> <p><input type="checkbox"/>研修 年18回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修(4/4、5、6、8、5/9、12、13、22、23、27、30) ・普通救命救急講習(AED取扱い研修)(6/28) ・専門人材育成研修(9/25、11/26) ・評価者研修(10/18、10/23) ・広報研修(10/24、10/30) ・危機管理研修(10/30) ・契約実務研修(11/19、11/22) ・法務研修(11/28) ・災害時初動対応研修(11/29) ・人権研修(12/2) ・文化財IPMコーディネータ資格取得のための講習会と試験(12/4、5、6) ・指定管理者研修(12/12) ・労務研修(12/20) ・ライフプラン研修(1/14) ・2030プロジェクト研修(1/15) ・防災研修(1/13、17、18、21、2/11、19、20、26) ・人権研修実施(2/10) ・グループウェア研修(2/21) <p>等に参加し、職員間で情報共有しました。</p>
---	--	--

オ 本市の重要施策を踏まえた取組について

<p>[取組内容]</p> <p>●個人情報保護 についての取組</p> <p>・個人情報の規</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>過失による個人情報流出事故 0件</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>以下の取組を行った結果、事故は0件でした。</p> <p>■個人情報は施錠しての保管やパスワード等、規定</p>
---	---	--

<p>定及びマニュアル等に基づく適切な取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な業務についてルール化し、研修や定期的なミーティングでスタッフの個人情報取扱いに対する意識を高める。 ・メールやFAX、郵便物の送付時の個人情報漏えいの防止 ・個人情報の適切な管理の徹底 		<p>やマニュアル等に基づいた取り扱いを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■コンプライアンス委員会を中心に研修や情報共有しました。 ■ダブルチェックの徹底等、個人情報漏えいの防止に最新の注意を払いました。 ■個人情報の適切な管理を徹底しました。
<p>●情報公開についての取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■規定に基づく適切な対応 ■事業計画書及び事業報告書の財団ホームページでの公開 	<ul style="list-style-type: none"> ■規定に基づき適切な対応を行いました。 ■事業計画書及び事業報告書を財団及び横浜市民ギャラリーホームページで公開しました。
<p>●人権尊重についての取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■全ての人に開かれた施設として人権に配慮した運営や接遇の実施 □横浜市主催の人権講習に職員が参加し、職場内の研修についても人権尊重の意識を高める取組を実施する。 研修 年1回 	<ul style="list-style-type: none"> ■研修への参加や事例の共有を通じて、人権に配慮した運営や接遇を実施しました。 □横浜市主催の人権研修に参加した職員が講師となり、職場内研修として人権尊重の意識を高める取組を実施しました。 人権研修 年1回実施
<p>●環境への配慮に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■環境への負荷の低減を意識した省エネルギー化、省資源化 ■「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動方針」「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」に基づいた施設管理 	<ul style="list-style-type: none"> ■全職員が環境への負荷の低減を意識し、業務に支障のない範囲で省エネルギー化、省資源化に努めました。またデマンド監視装置を導入し、効率的な省エネを実現しました。 ■環境対策について横浜市の施策に沿った施設管理を行いました。

<p>●市内中小企業 優先発注につ いての取組</p>	<p>□施設内での空気環境測定の実施：1回/2か月</p> <p>■物品購入・委託等は、特別な専門性の必要なもの等の理由がある場合を除き、横浜市の「物品・委託有資格者名簿」に登録された企業に発注</p>	<p>□施設内での空気環境測定の実施 1回/2か月 (5/7、7/5、9/4、10/1、11/6、12/24、1/9、1/19~20、3/4)</p> <p>■業務に支障がない限り、横浜市の「物品・委託有資格者名簿」での登録業者に委託・発注しました。複数の振込口座を持つ相手先には横浜市内に本支店を持つ口座を優先的に使用しました。</p>
-------------------------------------	---	---

カ 諸室の利用内容について

<p>[取組内容]</p> <p>●開館について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□開館について</p> <table border="1" data-bbox="344 824 759 925"> <tr> <td>開館日数</td> <td>347日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>10時~18時</td> </tr> </table>	開館日数	347日	営業時間	10時~18時	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□開館について</p> <table border="1" data-bbox="887 824 1310 1198"> <tr> <td>開館日数</td> <td>331日 (3/17~3/31は臨時休館。ただし、電話対応は実施。3/10及び3/25抽選会は実施)</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>10時~18時</td> </tr> </table>	開館日数	331日 (3/17~3/31は臨時休館。ただし、電話対応は実施。3/10及び3/25抽選会は実施)	営業時間	10時~18時
開館日数	347日									
営業時間	10時~18時									
開館日数	331日 (3/17~3/31は臨時休館。ただし、電話対応は実施。3/10及び3/25抽選会は実施)									
営業時間	10時~18時									

●利用料金 について	□利用料金について				□利用料金について					
	展示室		面積 (㎡)	料金/日(円)		展示室		面積 (㎡)	料金/日(円)	
				入場 無料	入場 有料				入場 無料	入場 有料
	地下		170	5,000	10,000	地下		170	5,000	10,000
	1階		184	5,500	11,000	1階		184	5,500	11,000
	2階	全面	396	11,500	23,000	2階	全面	396	11,500	23,000
		A	225	6,500	13,000		A	225	6,500	13,000
		B	171	5,000	10,000		B	171	5,000	10,000
	3階	全面	396	11,500	23,000	3階	全面	396	11,500	23,000
		A	225	6,500	13,000		A	225	6,500	13,000
B		171	5,000	10,000	B		171	5,000	10,000	
全室		1,146	33,500	67,000	全室		1,146	33,500	67,000	
アトリエ		面積 (㎡)	区分利用料金		アトリエ		面積 (㎡)	区分利用料金		
			10:00~13:30	一日				10:00~13:30	一日	
			14:00~17:30					14:00~17:30		
平日	148.6	6,500	12,000		平日	148.6	6,500	12,000		
土日祝		7,500	14,500		土日祝		7,500	14,500		
駐車場	30分100円				駐車場	30分100円				

(3) 管理について

ア 施設、設備の維持保全及び管理

<p>[取組内容]</p> <p>●PDC Aサイクルに基づく、計画的で高水準な施設管理業務の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■施設・設備について高水準で効率的な定期点検及び日常点検の実施</p> <p>■施設(建築物)、設備、及び備品の破損、不具合等の異常時には、利用者の安全を確保すると共に、施設の運営に支障をきたすことのないように適切な措置を講じ、速やかに報告する。</p> <p>□設備の過失による運転停止事故：0件</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■経験豊富な専門職員が定期的および日常的に点検し、利用者の要望や急激な気候の変化に対応できるよう、施設設備の機能維持に努めました。</p> <p>■異常時には直ちに対応できるよう施設管理職員と運営職員間の連絡体制を整え、修繕履歴等のデータを共有・蓄積し、今後役に立つシステムにしました。</p> <p>□設備の過失による運転停止事故：0件</p>
---	--	---

<p>●施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施</p>	<p>■施設の状態を常に清潔に保ち、利用者が快適に利用できるような、管理の実施</p> <p>□アンケートでの快適評価 4.0 以上</p> <p>□施設ハード面での過失による事故：0 件</p>	<p>■施設の状態を常に清潔に保ち、利用者が快適に利用できるような管理を実施しました。展示室の壁面は定期的な専門施行業者によるメンテナンスの実施に加え、当館スタッフによるリタッチを実施し、経費節減をしつつ展示壁をより良い状態で保つよう努めました。</p> <p>□アンケートでの快適評価 4.5</p> <p>□施設ハード面での過失による事故：0 件</p>
<p>●保守点検、備品管理、環境維持の実施</p>	<p>■設備管理業務日誌での日常点検の通年の記録と共有</p> <p>■備品の適切かつ良好な状態での管理</p> <p>■廃棄物の排出量を把握し、減量や分別・リサイクルに努める。</p>	<p>■日誌や点検記録は担当職員と管理職で回覧共有し、保管しました。</p> <p>■安全で清潔な施設管理のために備品を常に良好な状態に保ちました。</p> <p>■環境対策の一環として常に廃棄物の排出量を把握した上で、減量やリサイクルに努めました。</p>
<p>●収蔵庫の適切な管理の実施</p>	<p>■空調管理の実施 管理目標値 室温 20℃（±5℃）、湿度 50%（±5%）</p> <p>■収蔵庫内および収蔵庫周辺の定期的な清掃 週 1 回および適宜</p>	<p>■空調機器が自動制御ではないため、美術品保護に必要な温湿度管理のためにデータを蓄積しながら可能な限り空調管理を実施しましたが、年間 144 日は湿度の未達および超過が発生しました。</p> <p>■学芸員が原則週 1 回定期的に清掃し、美術品保護及び環境維持を行いました。必要に応じ収蔵庫周辺およびその他の場所を清掃・消毒を実施しました。</p>

イ 小破修繕への取組

<p>[取組内容]</p> <p>●効果的な小破修繕への取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■施設管理に対する全職員の意識の向上</p> <p>■全職員及び横浜市との情報の共有</p> <p>■全修繕履歴の年度毎のデ</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■情報共有のほか会議で取り上げるなど、施設管理に対する全職員の意識の向上に努めました。</p> <p>■修繕に関する施設内での情報共有のほか、モニタリングや設備トラブル報告書を通して横浜市と情報共有をしました。</p> <p>■全修繕履歴の年度毎のデータ化を行いました。</p>
------------------------------------	---	---

<ul style="list-style-type: none"> ● 保守管理の専門技術を活かした、迅速かつ臨機応変な突発修繕への対応 ● 多角的視点からの小破修繕箇所早期発見 	<p style="text-align: center;">ータ化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 保守管理の専門技術を活かした、突発修繕への速やかな対応 ■ 定期点検や日常点検、横浜市の施設管理におけるガイドラインに沿った点検・報告等の実施による修繕必要箇所の早期発見・対応により施設の長寿命化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 豊富な経験を有する共同事業体の専門職員を中心に、突発的な修繕を必要とされる場合でも速やかに対応しました。 ■ 横浜市の施設管理におけるガイドラインだけではなく、インターネットや他施設の情報など、多角的な知見を得て業務に対応しました。照明設備や空調設備等はこまめに状態を確認して管理し、不要な運転を減らすことで省エネだけではなく機械の長寿命化につなげることができるよう配慮した取り組みを行いました。
--	--	---

ウ 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事故防止体制・緊急時のための方針と対策 ・ 警備スタッフ及び機械警備による切れ目のない万全の警備体制の実施 ・ 関連法規の遵守 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 警備専門スタッフが午前9時から午後7時まで1階受付及び警備室へ常駐し、それ以外の時間帯である午後7時から翌午前9時までは機械警備にて万全の警備体制を実施する。 ■ 業務の基準に基づく、警備の実施と利用者の入退出の適切な管理 □ 過失による事故 0件 ■ 業務を遂行する上で、定められた関連法規等を遵守する。 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 人的警備、機械警備とも業務計画通り実施し、施設の安全を図りました。また、運用状況に応じて適切な警備を行いました。 ■ 業務の基準に基づき、来館者が安心・安全に施設を利用できるよう警備や管理を行いました。 □ 過失による事故 0件 ■ 「消防法」「警備業法」等、定められた関連法規等を遵守しました。
---	--	--

<p>・警備計画及び報告書の作成と適切な報告の実施</p>	<p>■警備計画書及び巡回警備計画書の作成とそれに基づいた警備業務の実施</p> <p>■警備スタッフによる警備及び機械警備の業務日誌の作成と共有</p>	<p>■警備計画書及び巡回警備計画書に沿った警備業務を実施し、安全な施設運営に努めました。</p> <p>■業務日誌を毎日作成及び回覧し、情報共有を図りました。</p>
<p>・施設内外への防犯対策の実施</p>	<p>■警備スタッフによる、施設の駐車場だけではなく周辺道路への防犯対策の実施</p>	<p>■近隣の防犯対策の実施や交通状況への対処など、周辺道路に対しても対応し、地域の一員としての責務を果たしました。</p>
<p>・救急セットやAED等の設置と十分な研修の実施</p>	<p>■救急セットやAEDの完備</p> <p>□AED取扱い研修未受講の新配属スタッフ等を対象に、研修を実施する。 年1回実施</p> <p>■毎日のAEDのセルフメンテナンスチェックの結果の確認</p>	<p>■救急セット及びAEDを完備しました。</p> <p>□AED取扱い研修 年1回実施(6/28)</p> <p>■毎日目視によるセルフメンテナンスチェック結果を確認しました。</p>
<p>●インフルエンザ等の感染症対策</p>	<p>■職員による施設内巡回による衛生管理の徹底</p> <p>■インフルエンザ等の流行時における予防のための掲示の実施や消毒剤の設置</p> <p>■鳥インフルエンザへの留意と異常時の迅速な対応</p> <p>■汚物の処理にあたっての準備及び処理時の手袋・マスクの装着の徹底</p>	<p>■衛生管理の意識を高く持ち、異常時には直ちに報告・対処できる体制にしました。</p> <p>■新型コロナウイルス、インフルエンザ等の予防啓発のための掲示を実施。手指用消毒剤は従前より常備設置しています。</p> <p>■鳥インフルエンザの発生件数はありませんでしたが、新型コロナウイルスに対しては、自主事業の中止、貸館利用者への感染症予防の協力依頼、臨時休館など、横浜市とともにウイルス拡大防止に努めました。</p> <p>■汚物の処理にあたっては処理キットを備え、処理時の手袋・マスクの装着を徹底しました。</p>

エ 防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
● 緊急時の連絡体制・役割分担	■ 緊急時の対応を明確にし、緊急連絡網を作成し、市に提出する。	■ 緊急時に迅速に対応できるよう緊急連絡網を作成し、市に提出しました。変更の場合も迅速に再提出を行いました。
● 平常時の防災対策	<p>■ 関連法規に基づいた届出等を行う。</p> <p>■ 災害時には、危機管理マニュアルに沿った対応ができるように、日頃からの危機意識を向上する。</p> <p>■ 全スタッフ対象の訓練を実施し、日頃から防災意識を高める。</p> <p>□ 危機管理マニュアルに基づき、災害時に来館者を安全に誘導できるようスタッフの消防訓練を行う。 消防訓練 年2回実施</p> <p>■ 自衛防災組織を設置し、継続的に防災訓練を行う。</p> <p>■ 町内会と防災関連の協議を行い、地域社会での責務を果たす。</p>	<p>■ 防火管理者を配置し、関連法規に基づいた届出等を行いました。</p> <p>■ シフト体制であっても瞬時に災害に対処できるように、出勤者の記名ボードに、災害時の役割を毎日明示することで、常に各自の役割が分かる工夫をしています。</p> <p>■ 全スタッフがAEDの操作や救命措置を行えるように訓練や講習を実施しました。</p> <p>■ 本番さながらの状況を作り出した地震を想定した防災訓練、および横浜市防災センターでの研修を活用した消防訓練を行いました。</p> <p>□ 消防・防災訓練 年9回実施(8/6、1/13、1/17、1/18、1/21、2/11、2/19、2/20、2/26)</p> <p>■ 自衛防災組織を設置し、継続的に防災訓練を行いました。</p> <p>■ 町内会と定期的に会議を持ち、地域社会での責務を果たす体制を整えました。</p>
● 災害発生時の取組	<p>■ 関連法令、条例、業務の基準に基づき、来館者の安全確保を最優先とし適切に対応</p> <p>■ 情報管理の一元化及び適切な報告を行う。</p> <p>■ 二次災害の発生防止措置の実施と、横浜市等との協議の上で適切な対応を行う。</p>	<p>■ 地震、火災といった災害は発生しませんでした。9月の令和元年房総半島台風、10月の令和元年東日本台風と2回に渡る台風の襲来時には、来館者への情報提供や臨時休館とする対応を行いました。また、年に9回消防・防災訓練をしたほか、地震発生時には館内点検を実施しました。</p> <p>■ 情報管理の一元化及び適切な報告を行うため日常的に館長への情報集約を実施しました。</p> <p>□ 地震、火災といった災害の発生はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症については、横浜市との協議のうえで、対策を実施しました。また2度に渡る台風の際には、事前の安全対策、台風一過後の館</p>

<p>●帰宅困難者一時滞在施設としての準備等の災害時の取組</p>	<p>■非常用簡易トイレ、飲料水、非常食、毛布等の備蓄</p> <p>■適切な情報収集による来館者や職員、施設の安全確保</p> <p>■災害鎮静後の危機管理マニュアルに基づき適切な対処と原状復旧体制の確保</p>	<p>内安全に十分な注意を払い、迅速に対応しました。地震対策として転倒金具の設置を行うなど、設備面での防災対策も進めました。</p> <p>■15人×3日分の非常用簡易トイレ、飲料水、非常食、毛布等の備蓄を整えました。</p> <p>■災害時には適切な情報収集を行うことをスタッフ内で確認しました。</p> <p>■災害鎮静後には危機管理マニュアルに基づき適切に対処し、原状復旧体制をとることをスタッフ内で確認しました。</p>
-----------------------------------	---	--

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●利用率の向上による利用料金収入の増加への取組</p>	<p>□施設の利用率向上により安定した利用料金収入を得ることで経営の健全化に繋げる。</p> <p>平成31年度目標額 11,000,000円</p>	<p>□昨年度からの空き室の利用促進のための運用の変更や、丁寧な対応を続けてきた結果、展示室はほぼ100%の高い利用率で推移し、またそれに伴い利用料金収入も目標額に達することを見込んでいましたが、新型コロナウイルス感染防止のために、3月の貸館利用がすべてキャンセル(全額返金)となりました。このため、最終的な実績値は目標額を下回りました。</p> <p>平成31(令和元)年度利用料金実績 10,478,310円</p>
<p>●周知等による駐車場の利用料金収入の増加への取組</p>	<p>□伊勢山皇大神宮等への周知活動の実施により駐車場の利用の増加を目指す。</p> <p>平成31年度目標額 1,200,000円</p>	<p>□伊勢山皇大神宮に駐車場の空き状況を提供し、参拝客への周知を行ったほか、警備スタッフがこまめに空き状況を確認しながら、効率良く車両を受け入れました。</p> <p>平成31(令和元)年度実績 1,535,700円</p>
<p>●助成金・協賛金・広告料収入の獲得</p>	<p>□助成金・協賛金の獲得 平成31年度目標額 1,300,000円</p> <p>□広告料</p>	<p>□助成金・協賛金の獲得 助成金：公益財団法人花王芸術・科学財団 500,000円、芸術文化振興基金 1,384,000円 (公益財団法人野村財団申請は不採択) 現物協賛：グランドピアノレンタル、飲料2ケース</p> <p>□広告料</p>

<p>●周知等による講座料収入の増加への取組</p> <p>●自動販売機の販売収入の増加への取組</p>	<p>平成 31 年度目標額 440,000 円</p> <p>□独自の事業周知の取組みに加え、財団の広報ネットワークや管理運営する美術系施設間と連携した周知等により事業参加者数の増加を目指す。</p> <p>平成 31 年度目標受講料</p> <p>□大人のためのアトリエ講座 1,140,000 円</p> <p>□ハマキッズ・アートクラブ 300,000 円</p> <p>□客層の嗜好に合わせた内容を販売することで販売収入の増加を目指す。</p> <p>平成 31 年度目標額 400,000 円</p>	<p>新しい広告スペースを生み出す工夫を行ったこと、また多くの広告主に継続して掲載希望をしていただいたことで、目標を大きく上回る広告料収入となりました。</p> <p>平成 31 (令和元) 年度実績 610,000 円</p> <p>□ホームページやSNSを利用した周知に加え、財団の広報ネットワークと連携したより広い媒体への周知や施設へのチラシ配架により、事業参加者数の増加を目指しました。</p> <p>平成 31 (令和元) 年度受講料実績</p> <p>□大人のためのアトリエ講座 1,290,500 円</p> <p>□ハマキッズ・アートクラブ 333,000 円</p> <p>□来館者数や来館者層を予測しながら販売内容を決し、販売収入の増加を目指しましたが、3月はほぼ1か月間臨時休館となったことも大きく響き、目標額は達成できませんでした。</p> <p>平成 31 (令和元) 年度実績 280,000 円</p>
--	--	--

イ 経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●発注及び事務の効率化等による経費削減</p>	<p>■横浜市に準じた経理規程に基づいた、支出を最小限に抑える取組の実施</p> <p>■事務用品の再利用化の推進</p> <p>■広報物の発送の効率化による経費の削減</p> <p>■計画的な経理処理による手数料の削減</p>	<p>■入札や見積り合わせ等、支出を最小限に抑える取組を実施しました。</p> <p>■分別した上、裏紙利用など、資源の再利用に努めたほか、会議等で職員の節約に対する意識を高めました。</p> <p>■発送計画を立て、作業日を集中させるなど、広報物の発送の効率化による経費の削減を実施しました。</p> <p>■計画的な経理処理により手数料の削減を心がけました。</p>
<p>●適切な施設及び設備管理に</p>	<p>■施設・設備の効率的な運用による経費削減</p>	<p>■過年度のデータをもとに細やかで効率的な設備運転を実施しました。</p>

<p>による経費削減</p>	<p>■施設・設備の現状把握と修繕計画による支出の平準化と修繕費の抑制</p> <p>■早期の修繕実施による長期における経費削減</p>	<p>■日常的に共同事業体間の情報共有を密に行い、現状を把握したうえで計画的に修繕を行いました。</p> <p>■設備担当の日常点検だけではなく、全職員の意識を高め、不具合があれば迅速に報告・対処しました。</p>
<p>●職員の業務の効率化による経費削減</p>	<p>■職員会議や面談による職員の業務の効率化への意識の統一</p> <p>■業務の発注へのコスト意識及び職員の超過勤務削減による経費削減</p>	<p>■日常の勤務状況を踏まえた上で職員会議や面談により、職員の業務の効率化への意識統一を図りました。</p> <p>■入札見積合わせ等、経理規程に基づきながら契約発注をしたほか、平素から超過勤務削減への職員間の意識を高め、業務に対する経費削減に努めました。</p>
<p>●展覧会や講座等の事業にかかる経費削減</p>	<p>■作家や講師と協働での事業企画による経費削減</p> <p>■企業からの現物協賛の受入れ等による経費削減</p>	<p>■作家や講師に事業の趣旨や意義を伝え共感していただくことで、経費の工夫など経済的にも協力していただきました。また、横浜美術館や横浜市民ギャラリーあざみ野と展覧会や講座で備品を貸し借りし、経費削減に努めました。</p> <p>■事業の趣旨を理解していただいたうえで、企業からの現物協賛などの協力を受けることができ、結果として経費の削減に繋がりました。</p> <p>・グランドピアノレンタル、飲料2ケース</p>

(5) PDCAサイクルの確実な運用

[取組内容]	[達成指標]	
<p>●日報及び月間事業報告書の作成・管理</p>	<p>■各種日報の作成</p> <p>■月報を作成しモニタリング時に提出</p> <p>■各日報、月報を適切に管理保管</p>	<p>■各種日報を作成し、担当部署及び管理職に回覧、情報共有を図りました。</p> <p>■月報を作成しモニタリング時に提出しました。</p> <p>■各日報、月報を適切に管理保管しました。</p>
<p>●業務計画書及び業務報告書の作成・管理</p>	<p>■業務計画書(次年度の業務計画、収支予算)を作成し横浜市に提出</p> <p>■業務報告書(前年度の業務報告及び利用実績、収支決算)を作成し横浜市に提出</p>	<p>■業務計画書(次年度の業務計画、収支予算)を作成し横浜市に提出しました。</p> <p>■業務報告書(前年度の業務報告及び利用実績、収支決算)を作成し横浜市に提出しました。</p>

<p>●業務評価(モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施)</p>	<p>出</p> <p>■定期的にモニタリングを実施し、横浜市に運営状況の報告</p> <p>■自己評価の実施</p>	<p>■横浜市の担当者と毎月1回のモニタリングを実施し、運営状況を報告しました。</p> <p>■自己評価を実施しました。</p>
---------------------------------------	---	---

(6) その他

<p>[取組内容]</p> <p>●保険及び損害賠償の取扱い</p> <p>●関係法令の順守</p> <p>●市及び関係機関等との連絡調整</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入</p> <p>■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守</p> <p>■横浜市とのモニタリングを定期的開催</p>	<p>■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入しました。</p> <p>■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守しました。</p> <p>■横浜市とのモニタリングを定期的開催しました。(6/3、6/26、7/31、8/29、9/26、10/31、11/28、12/24、1/27、2/20、3/30、4/27)</p>
---	---	---

【別紙】自主事業一覧

No	実施 時期	主催・ 共催・ 協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・ 参加者 数(人) (見込者 数)	実施回 数
1	9/20- 10/12	主催	新・今日の作家展 2019「対話のあとさき」 [関連事業] ・対談「対話のプラットフォームとしての美術、建築」(9/21) ・対談「時の厚み、時の手触り―「スナップショット」に託すもの」(9/28) ・ワークショップ「建築廃材で木製ブックスタンドをつくる」(10/5) ・鼎談「二核的な同一主体の隔たりについて」(10/6) ・学芸員によるギャラリートーク(9/29)	展示室 B1、1	1964 年から 2006 年まで開催した現代美術の年次展「今日の作家展」の歴史を継承し、現在進行形の美術を紹介する。 出品作家：鎌田友介、原美樹子、守章、門馬美喜	4,380 (4,000)	1 事業 関連事業5事業
2	2/28- 3/15	主催	コレクション展 2020「うつし、描かれた港と水辺」 [関連事業] ・ワークショップ「木版画摺り体験 摺りであらわす水辺の情景」(2/29) ・ハマキッズ・アートクラブ「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」(3/8) ・学芸員によるギャラリートーク(3/7) ・鑑賞サポーターによるトーク(3/8、14)	展示室 B1、1	港と水辺をテーマに、油彩、日本画、版画、写真等 55 点を紹介。以下のセッションで構成。※2/29 以降開催中止 1. 写真で見る戦後-昭和のミナト 横浜 2. 描かれた横浜港 1940~80 年代 3. 水辺と人びと 4. 港と水辺 アラカルト-版画と漫画の多様な表現 特別展示 牛田雞村の描いた横浜-開港期の風景	182 (4,000)	1 事業 関連事業(4事業中止)
3	7/19- 7/28	主催	横浜市こどもの美術展 2019 [関連事業] ・いわいとしお『100 かいだてのいえ』展 ・ハマキッズ・アートクラブ作品展示 ・自由参加ワークショップ「みんなであつなごう！ 100 かいだてのいえ」 ・いわいとしお スペシャル絵本ライブ ・横浜みなとみらいホール連携「夏のこども音楽会」 「未来の音楽家、ハマの JACK 金の卵たちによる演奏会」 「みなとみらい Super Big Band ギャラリー・コンサート」	展示室 B1、 1、2、3	市内在住・在学の 12 歳以下の幼児・児童を対象とした無審査の公募展。	16,257 (15,000)	1 事業 関連事業 6 事業 8 回

4	4-3 月	主催	ハマキッズ・アートクラブ	アトリエ	小学生以下の子どもを対象とした造形講座	268 (200)	10 講座 (他 1 講座中止)
5	4-2 月	主催	大人のためのアトリエ講座	アトリエ	専門的な創作活動を体験する造形講座と、芸術文化各分野で活動している方を講師に招く聴講講座。全 10 講座。	260 (200)	10 講座 27 回
6	10-11 月	主催	横浜市民ギャラリーアーツフェスティバル事業	アトリエ	横浜音祭り 2019 に寄与する事業 ・ハマキッズ・アートクラブ「バイオリンをつくろう」(11/3) ・大人のためのアトリエ講座「音を奏でる人体を描くークロッキーとデッサン」(10/31、11/7、11/14、11/21)	45 (150)	2 事業
7	10/10 -14	主催	5 館連携事業「紅葉ヶ丘まいらん」	近隣 5 施設 (神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター、神奈川県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂)	神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター、神奈川県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂と連携して回遊性のあるイベントを実施。県立青少年センター、横浜能楽堂のイベント参加者を当館へ誘導し、「新・今日の作家展」のギャラリーツアーを行う。	ギャラリー ーツアー ①33 人 ②18 人 当館でスタンプを押した方 57 人	1 事業
8	11-1 月	協力	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内	市内学校へアーティストが出向き、プログラムを実施	155 (-)	3 校 5 回
9	12 月	協力	アートティーチャーズ・プロジェクト	市内	・市立美術科教員へのレクチャー(12/18)	- (30)	1 事業
10	通年	その他	広報事業 「ヨコハマ・ギャラリーマップ」「アートヨコハマ」 「横浜画廊散歩」の発行等	-	情報誌 3 種「ヨコハマ・ギャラリーマップ」「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」の発行とホームページでの情報発信を行う。	-	-
11	通年	その他	コレクション管理	-	収蔵庫の環境管理、所蔵品の点検・データ更新、修復、貸出対応等を行う	-	-
12	8-1 月	協力	アウトリーチ事業	市内	近隣施設での出張ワークショップ ・横浜みなとみらいホールオープンデーワークショップ「横浜市民ギャラリーがやってきた！どうぶつお面をつくろう」(8/12) ・神奈川県立青少年センター子どもフェ	223 (-)	2 事業

					スティバル ワークショップ「横浜市民ギャラリーがやってきた！つくって、あそぼう」(1/26)		
13	7/31- 8/11	共催	台湾コンテンポラリー・アート展「淬・煉—百鍊鋼を成す」	展示室 B1	身体運動を反復するアーティストが、修行者のように物事を知覚し、真我を実践していく一連のサイクルに焦点を当てた企画展。トークイベントや交流会も実施。 主催 台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター	865 (-)	1 事業
14	7/31- 8/11	共催	2019 台中市大墩美展文化交流展	展示室2、3	台湾の代表的な美術展。これまでの台中市大墩美展の優秀作品など 80 点を展示し、芸術文化を通じた国際交流を実現。当館が窓口となり、日本の書道団体との制作交流会も実施。 主催 台中市政府文化局	1,578 (-)	1 事業

令和元年度 「横浜市民ギャラリー」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	146,210,000		146,210,000	146,210,000	0	横浜市より
利用料金収入	12,200,000		12,200,000	12,025,510	174,490	施設利用料、駐車場利用料
自主事業収入	1,740,000		1,740,000	1,623,500	116,500	入場料、講座料
横浜市費用負担	0		0	647,000	△ 647,000	新型コロナウイルス感染症に関する横浜市の費用負担分
雑入	2,318,000	0	2,318,000	3,849,296	△ 1,531,296	
印刷代			0	56,170	△ 56,170	
自動販売機手数料	400,000		400,000	280,000	120,000	
その他(助成金・協賛金・広告料等)	1,918,000		1,918,000	3,513,126	△ 1,595,126	
収入合計	162,468,000	0	162,468,000	164,355,306	△ 1,887,306	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	73,816,000	0	73,816,000	70,685,829	3,130,171	
給与・賃金	61,270,000		61,270,000	58,584,827	2,685,173	
社会保険料	8,354,000		8,354,000	7,721,661	632,339	
通勤手当	1,253,000		1,253,000	1,331,322	△ 78,322	
健康診断費	73,000		73,000	52,581	20,419	
勤労者福祉共済掛金	54,000		54,000	80,971	△ 26,971	
退職給付引当金繰入額	2,812,000		2,812,000	2,914,467	△ 102,467	
事務費	3,615,000	0	3,615,000	3,876,148	△ 261,148	
旅費	182,000		182,000	289,234	△ 107,234	
消耗品費	816,000		816,000	888,571	△ 72,571	
会議賄い費	5,000		5,000	989	4,011	
印刷製本費	252,000		252,000	110,615	141,385	
通信費	706,000		706,000	795,113	△ 89,113	
使用料及び賃借料	617,000	0	617,000	735,052	△ 118,052	
横浜市への支払分	122,000		122,000	121,644	356	
その他	495,000		495,000	613,408	△ 118,408	
備品購入費	0		0	765,676	△ 765,676	中性紙保存箱等
図書購入費	40,000		40,000	28,517	11,483	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	31,267	△ 11,267	
職員等研修費	10,000		10,000	1,000	9,000	
振込手数料	161,000		161,000	128,354	32,646	
リース料	686,000		686,000	56,326	629,674	
手数料	84,000		84,000	9,434	74,566	
地域協力費	36,000		36,000	36,000	0	
事業費	18,195,000	0	18,195,000	19,818,112	△ 1,623,112	
自主事業費	18,195,000		18,195,000	19,818,112	△ 1,623,112	
管理費	54,479,000	0	54,479,000	53,660,819	818,181	
光熱水費	7,872,000	0	7,872,000	6,707,269	1,164,731	
電気料金	5,046,000		5,046,000	4,171,410	874,590	
ガス料金	2,019,000		2,019,000	1,891,091	127,909	
水道料金	807,000		807,000	644,768	162,232	
清掃費	0		0	0	0	
修繕費	1,009,000		1,009,000	974,451	34,549	
機械警備費	393,000		393,000	392,400	600	
設備保全費	45,205,000	0	45,205,000	45,586,699	△ 381,699	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	468,000		468,000	468,700	△ 700	
電気設備保守	328,000		328,000	406,788	△ 78,788	
害虫駆除清掃保守	1,785,000		1,785,000	1,789,684	△ 4,684	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	42,624,000		42,624,000	42,921,527	△ 297,527	清掃費、設備管理業務、送迎車委託費等
共益費	0		0	0	0	
公租公課	6,050,000	0	6,050,000	5,979,047	70,953	
事業所税	16,000		16,000	0	16,000	
消費税	6,009,000		6,009,000	5,930,400	78,600	
印紙税	20,000		20,000	28,000	△ 8,000	
その他(法人住民税、電波使用料)	5,000		5,000	20,647	△ 15,647	
事務経費 (計算根拠を説明欄に)	6,313,000	0	6,313,000	6,313,000	0	
本部分	6,313,000		6,313,000	6,313,000	0	
当該施設分			0		0	
支出合計	162,468,000	0	162,468,000	160,332,955	2,135,045	
差引	0	0	0	4,022,351	△ 4,022,351	